

風土記の丘の花だより⁸⁹

今、そしてこれから見られる植物(2021年6月5日)

梅雨とはいえ、梅雨の中休みで晴れたら真夏のような暑さです。このまま夏に突入かなと思ってしまいますね。でもまだまだ大雨には注意が必要です。雨の日や降ったあとの散歩は足元に十分気をつけてください。



オカトラノオがきれいに咲いています。丘に生え、まるでトラのしっぽのような形の花という意味でしょうが、どうして、トラというような日本にいない動物のしっぽを連想したのでしょうか。しばし蒸し暑さを忘れさせてくれる清楚な花です。全体に目がいきがちですが、近寄って花を観察すると、白い小さな花が集まっているのが分かります。



キササゲの花が咲いていますが、高い所なので、ほとんどの人は気づかずに通り過ぎているようです。竪穴住居の東側です。登って行く坂道の左側と言った方が分かりやすいでしょうか。茶色で細長いものがたくさんぶら下がっているのは、去年にできた実です。それがお豆のササゲに似ているので、キササゲという名前になりました。花期が短いので、この花便りをご覧ください。く頃には、さてどうでしょうか……。



ありふれた花ですがムラサキカタバミの花もきれいです。古い時代に渡来した外来植物です。それまで、カタバミといえば黄色い花でしたが、この花が入って来た頃はこのピンク色がものすごくエキゾチックに思えたことでしょう。でも観察会などで子どもに名前を教えたら「ピンク色やのに、なんでムラサキなん？」と質問されます。確かにそれもそうですね。



ミシシippアカミミガメが写っていますが、その左に黄色い花があります。水生植物アサザの花です。万葉植物園に植えられていたものを株分けして、新池に移植したものが成長し、きれいな花を咲かせてくれました。もちろん元の場所でも咲いているので、近くで観察できます。和歌山県の絶滅危惧種です。 松下